

# アジアの行政官が九州の発電所を訪問

## 日本のエネルギー政策を学びます

開発途上国の急激な経済発展に伴い、エネルギー需要は今後さらに増大することが予想される中、その安定供給や環境に対する配慮が課題となっています。また各国においては、安全保障の確保や国産資源の有効活用の視点も求められるようになり、包括的なエネルギー政策・需要見通しを作成することが急務となっています。

そこで、JICA東京では、日本及び世界のエネルギー政策の変遷と現状、最新技術動向について理解し、需要予測やエネルギーバランスに基づく政策立案方法を学ぶことを目的とした研修を実施しており、主にアジアとアフリカの開発途上国からエネルギー政策に携わる行政官等を研修員として受け入れています。今回はアジアから9名の研修員がこの研修に参加し、以下の視察に訪れます。是非取材をご検討ください。



昨年度の視察の様子

### <取材可能日時・視察場所>

#### 6月18日(火)

9:30-11:30 / 北九州市エコタウンセンター (福岡県北九州市若松区向洋町10-20)

白鳥展示館 (福岡県北九州市若松区響町1-108) ※展示館に対する取材は不可

#### 6月19日(水)

14:30-15:30 / 白糸の滝小水力発電所

(福岡県糸島市白糸452-8)

#### 6月20日(木)

9:00-11:30 / 天山揚水式発電所

(佐賀県唐津市巖木町大字天川 1327 番地)

### <研修概要>

研修コース名：エネルギー政策 (A)

研修期間：2019年6月6日～2019年7月4日

### <参加者>

カンボジア、ラオス (2名)、モンゴル、ミャンマー、ネパール、パキスタン (2名)、タジキスタン 全9名  
 ※当日は、研修監理員が同行し、通訳(英語-日本語)を行います。



今回参加する研修員9名

### 【本件に関する問い合わせ・連絡先】

#### ◆当日の取材について

取材をご検討いただける場合、事前に下記連絡先までご一報ください。

JICA 東京 産業開発・公共政策課 赤坂 TEL 03-3485-7630 E-mail: [Akasaka.Yukako@jica.go.jp](mailto:Akasaka.Yukako@jica.go.jp)